

## 脳神経外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

研究課題名	開頭腫瘍摘出術の有効性・安全性に関する後方視的研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	脳神経外科
研究責任者	准教授 岩味健一郎
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	【非該当】
研究の意義・目的	より安全で有効性の高い開頭腫瘍摘出術を行うために、術前後の画像変化や観察器具の種類、術中電気生理モニタリングの変化などを解析する。
対象となる患者さん	2016年4月から2024年11月までに開頭手術を受けた患者さん
研究の方法	<p>開頭手術は頭蓋骨の一部を開放することで、頭蓋内の病変を直接治療するために広く用いられる手術方法ですが、時代とともに用いられる器具や手技が少しずつ変化しています。今回の研究では、当院で手術を受けられた患者さんに関して、用いられた手術器具や手術方法、手術前後での検査の変化、手術の有効性や安全性などの情報を収集し、より安全で有効な手術方法を後方視的に検討します。</p> <p>本研究のために使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化します。匿名化したデータは他のコンピューターから切り離されたものを使用し、施錠した保管庫に保管します。</p> <p>研究対象者ご本人または代理人の方は研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。希望される場合には下記の問い合わせ先までご連絡ください。</p>
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2024年12月31日
研究に用いる試料・情報	情報：【術前後の頭部CT画像、頭部MRI画像、手術中に用いた器具の種類や手術中の脳波データ、病理診断結果等】
外部への試料・情報の提供	【なし】
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部脳神経外科学講座 担当者：講師 岩味健一郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22138）